

第11回浦島太郎杯ヨットレース帆走指示書

主催：八代ヨットクラブ 共催：熊本、天草 島原ヨットクラブ

運営委員：宮川 輝之、山崎 俊国、高岡 晃広、加藤 秀樹、岡村 哲生
(レース委員長)

開催日 平成26年 5 / 11 (日)

スタート予告時刻 9:55 予定

艇長会議、前夜祭は行いません。

エントリー受付は、

前日までの申し込みはキャプテンガンバへ

レース当日は、レース開始前(9:00をリミット)

090-301-5563(加藤)までにお電話ください

例年とおおり前日よりポンツーン係留希望の船はキャプテンガンバまで
ご連絡下さい。

参加資格

1. 使用艇は船齢20年以上で安全航海可能な帆船
2. 乗員50才以上(女性クルー2名までは年齢不問)
3. 乗員数は船検証に記載の定員を超えないこと

出艇料 5,000円/艇(レース後納入で可)



レースコース説明

スタート予定時刻 9:55

八代三ツ島 西海面 (本部艇ステイング)

タイムリミット 15:00

表彰式 16:00 (またはレース終了1H後)

場所: ヨットクラブポンツーン付近

コース (右図参照) 1レースのみ

スタート 船揚島 (時計周り) フィニッシュ

救命胴衣は着用励行

緊急時は “手こぎ勝手たるべし”

スタートライン

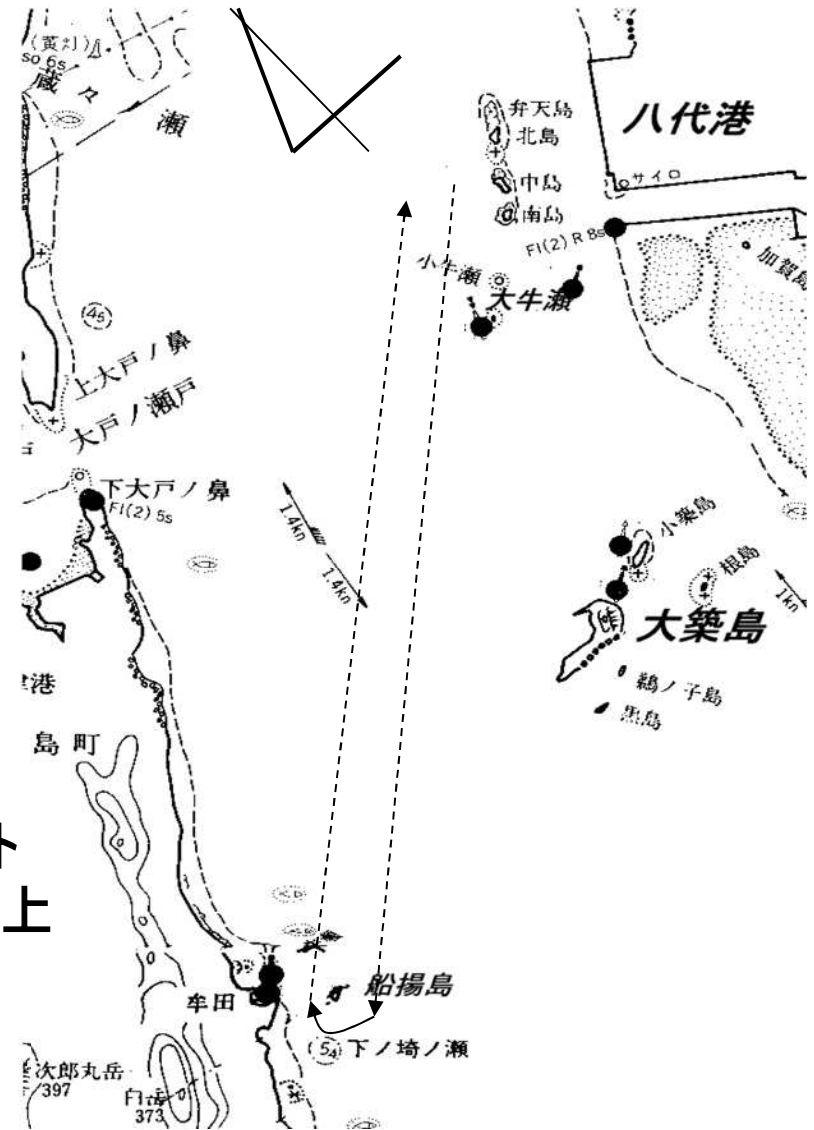
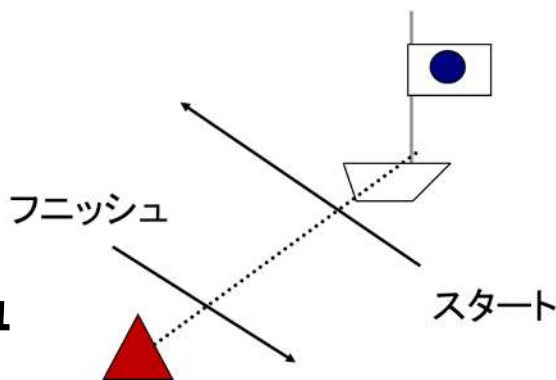
八代ヨットクラブ旗を掲揚した本部船 (ステイング) マストとアウターリミットマ - ク (三角 オレンジ) の見通し線上

本部艇を右に見てスタート

フィニッシュライン

スタートラインとおなじ

本部船を左にみてフィニッシュ



潮時 (八代港)			
5 / 11 (日)	満潮	5:24	18:06
	中潮	干潮	11:55

スタート信号

予告信号

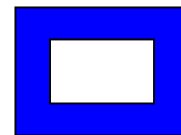
5分前 オレンジ旗掲揚



+ 短音1声

準備信号

4分前 P旗 掲揚

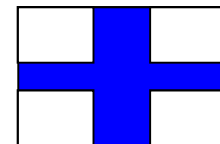


+ 短音1声

スタート信号

1分前 P旗 降下
オレンジ旗の降下

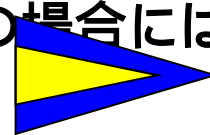
+ 短音1声
+ 短音1声



リコ - ル信号

リコ - ル艇ある場合には、本部船にX旗掲揚 + 長音1声
X旗は全てのリコ - ル艇がリコールを解消した場合 または、リコ - ルを解消しない艇があったとしても4分後には降下しスタートラインは閉じられる。
リコ - ル艇の通告はしない。リコ - ルの解消をせずにレ - スを続行した艇は、20%のペナルティーを課す。

ゼネラルリコ - ル(大半の艇がリコ - ル)の場合には、



本部船に第1代表旗を 掲揚し + 長音2声
ゼネラルリコ - ルの後の新たなスタート準備信号は、第1代表旗の降下1分後に発せられる。

リタイヤ

リタイヤした艇は、速やかに運営艇または大会本部にその旨を通知しなければならない。

レ - ス本部の連絡先 090 - 3015 - 5630 (加藤 携帯)

090 - 5024 - 7389 (高岡 携帯)

フニッシュ

レ - スを終了した場合は、音響信号を発する

レ - スの中止

大会本部よりレ - スの中止通知を電話で行うので、レ - ス海面までは連絡手段を確保しておくこと。必ず出艇申告に携帯電話番号を連絡のこと

中止基準 風速毎秒 15 m以上 波高平均 2 m以上

順位

所要時間を、熊本外帆協2014レ - ティングにて修正し、修正時間の短い艇を上位とする
失格に代わる罰則

本レ - スにて、国際セ - リング規則第2章の規則違反にたいして2回転のペナルティ - を適用する。

運営委員会が認知した範囲で2回転のペナルティ - を行なわなかった艇および2章以外の規則違反は得点ペナルティ - の罰則を適用する。

今レースでの抗議の受付は行わない。

本帆走指示書に不明な点がある場合には、 080 - 5201 - 5488 (岡村 携帯)

へお問い合わせください。

以下補足資料

セーリング規則の基本原則です。

安全(規則1)

1.1 危険な状態にあるものを助けること

艇または競技者は、危険な状態にある人員または船舶に対して可能な限りのあらゆる救助をしなければならない。

1.2 救命設備と救命胴衣

乗員の全員を守るのに必要な救命装備を船には備えること。

クラス規則にしたがって、各乗員はレース条件にあった救命胴衣等を装着しなければならない。

公正な帆走(規則2)

艇およびそのオーナーは、一般に認められているスポーツマンシップとフェア・プレーの原則に従って競技しなければならない。

フェアプレーとは 声をかけること

自分の違反に気づいたらペナルティー履行

安全重視 (セーフティー・ファースト)

セーリング規則44条ペナルティーの解説です。

ペナルティーの履行(規則44.1)

レース中に違反や違反の恐れのあるケースが起きた場合には2回転のペナルティーを行う。
マークへの接触(規則31条)は 1回転のペナルティーを行う。

と が同時におきた場合は、 だけを行えばよい。(44.1a)

セーリング規則44条ペナルティーの履行の注意事項です。

ケースをおこした艇はできるだけ速やかに他の艇から十分に離れ
1回のタックと1回のジャイブを含む回転を 同一方向に必要な数だけ行う。
フニッシュ・ラインの近くでペナルティーを履行する場合は、フニッシュする前にフニッシュ
ラインのコースサイドまで完全に 帆走しなければならない。

